

2026年度Ⅱ期入試に向けて勉強しておいてもらいたい参考書一覧

「思想」領域研究コース

- ・ハン・ドイル著・岡崎暢子訳『教養としての「ラテン語授業」——古代ローマに学ぶリベラルアーツの源流』ダイヤモンド社、2022年
- ・松橋崇史・金子郁容・村林裕『スポーツのちから 地域をかえるソーシャルイノベーションの実践』慶應義塾大学出版会、2016年
- ・佐藤慎一『近代中国の知識人と文明』東京大学出版会、1996年
- ・及川智早『日本神話はいかに描かれてきたか 近代国家が求めたイメージ』新潮社、2017年

「文化」領域研究コース

- ・川村湊他編『戦争文学を読む(朝日文庫)』朝日新聞出版、2008年
- ・石黒浩『ロボットとは何か 人の心を映す鏡(講談社現代新書)』講談社、2009年
- ・堀啓子『日本近代文学入門(中公新書)』中央公論新社、2019年
- ・宇野重規『民主主義とは何か(講談社現代新書)』講談社、2020年
- ・松沢裕作『歴史学はこう考える(ちくま新書)』筑摩書房、2024年
- ・中村幸彦『戯作論(角川選書クラシックス)』KADOKAWA、2025年

「平和・環境」領域研究コース

- ・環境省『令和7年版 環境白書』
- ・草野大希等編『国際関係論入門』ミネルヴァ書房、2023年
- ・藤井建夫(編著)『食品微生物学の基礎』(第2版) 講談社、2024年
- ・小泉武夫(編著)『発酵食品学』講談社、2012年
- ・遠藤環・伊藤亞聖・大泉啓一郎・後藤健太編著『現代アジア経済論』有斐閣、2018年

以上